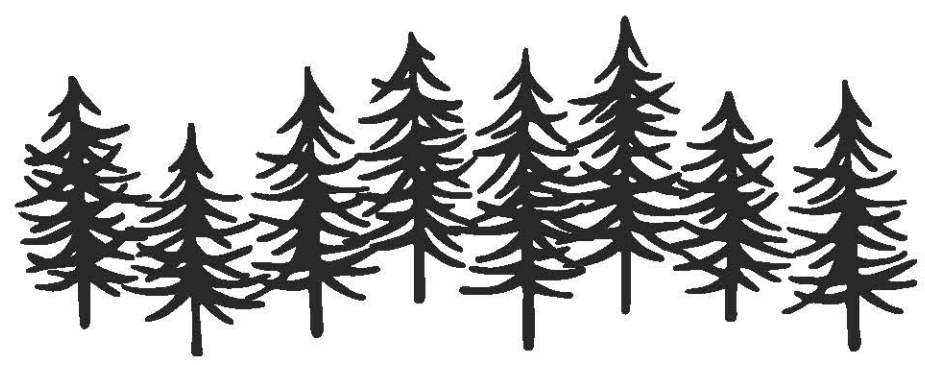


つながるん弁当



あしすみごはん舎

足利・名草×墨田



足利と墨田を 食でつなぐ

里山・名草では人の過疎化が進み、都市・墨田では食(農)の過疎化が進んでいます。私たちは、東武伊勢崎線でつながる両地域を、“食”を通して結び活動を行っています。

ヤッチャバ市での販売や、生ごみコンポストによるゆず栽培など、都市と農村を循環でつなぐ取り組みを進めています。

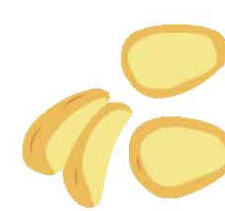


都市と農村の“つながり”から
生まれた弁当…

かそべんを構成する 3つのテーマ

①里山の恵み

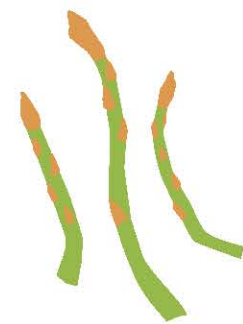
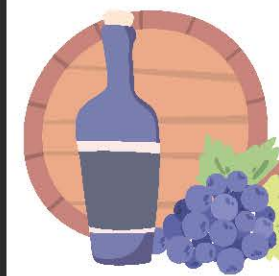
名草の自然と暮らしから
生まれた食材



名草の生姜・紅生姜
ゆず など

②循環する農業

都市と農村をつなぐ
循環型の食



足利 マール牛
あしかが美人アスパラ

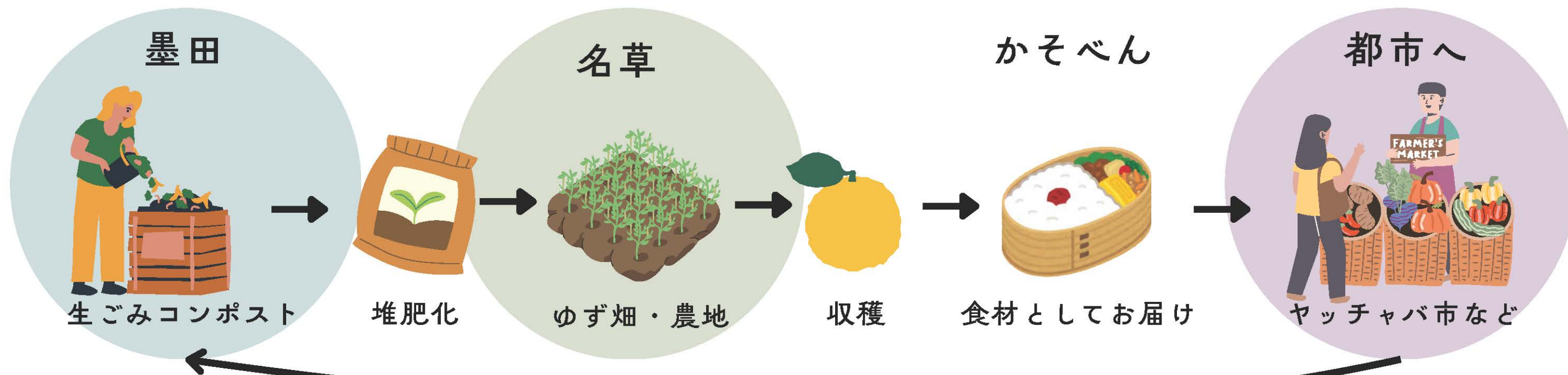
③足利100年の食文化

昔から愛されてきた
“足利の味”



ポテト入り焼きそば
足利しゅうまい
ソース文化

食と農の循環



都市で生まれたものが、里山の農地へ還り、再び食として都市へ届く。

私たちは、食と農の循環を通して、都市と農村が支え合う関係を目指しています。

🕒 将来への期待

- ・地域の食文化を次世代に残す
- ・地元を離れた人に故郷を思い出してもらう
- ・都市と農村を食でつなぐ

📈 今後の挑戦

- ・名草日用品店での販売
- ・東武伊勢崎線を通じた駅弁化への挑戦
- ・人と人をつなぐ新しい取り組みづくり